

BL11実験ハッチ2内に設置された共鳴X 線非弾性散乱分光器。

Ge (531) 湾曲単結晶をアナライザに用い、Mn - K吸収端 (6.55 keV) で、分解能100 meV、エネルギー遷移10 eV程度までの測定が可能。

BL29XUに設置された1kmビームライン(上流側から下流を望む)。大型の干渉実験を行うため、垂直に1m離れた2本のX線用ビームダクトが設置されている。等間隔に建っている小屋には、X線ダクトを真空に保つポンプ等が置かれている。





1kmビームラインの鳥瞰図。先端の建物は長尺実験棟。